

日本水彩畫會廣告

■本會研究所は 東京市小石川區小日向水道端町二丁目十六番地（服部坂下通り、電車江戸川線水道町停留場より二丁）にあり、毎日午前、夜、毎週日曜日終日、授業すべし、講師は河合新藏、岡精一、永地秀太、眞野紀太郎、磯部忠一、丸山晚霞、大下藤次郎諸氏なり

■安中支部は群馬縣安中町根岸方にて毎月一回授業すべし、講師は河合新藏、丸山晚霞の兩氏交々出張す

■横濱支部は神奈川縣程ヶ谷小學校内にあり、毎月二回大下藤次郎氏出張授業すべし

■長野支部は長野市師範學校内にあり、毎月一回研究會を開き、年數回講師出張指導すべし

■京都支部は寺町二條南、森親子商會内に事務所を置き、毎月一回研究會を開き、年數回講師出張指導すべし

■飯山支部は長野縣飯山町森本香谷方にて毎月研究會を開き、年數回講師の出張あるべし

■關西支部は滋賀縣膳所錦木下藤田紫舟方を事務所とし、京都に於て毎月研究會を開く

■日本水彩畫會には地方講習生の設けあり、丸山晚霞氏主として通信授業をなす

■日本水彩畫會々友は作品の批評を受くるのほか幾多の便利と利益とあり、大下藤次郎氏主として其事にあたる

■研究所規定及會友規定御入用の方は往復ハガキにて申出らるべし

以上

(後附の四)

發行日

本誌規定
毎月一回 三日

定價

一冊送料共金拾八錢、三冊金五十二錢、六冊金一圓、十冊金一圓六十錢、見本一冊郵券にて金拾錢但號數の指定に應ぜず

會友

一時に金拾五圓以上を拂込むものには本會々友として日本水彩畫會々友と同一の待遇を與へ永久本誌の無料配布を受くる事を得

送金

前金のほか一切送本せず○前金切の時は包紙に注意すべし○代金拂込は振替貯金を望む但一回毎に必ず登記料金二錢を拂込に加ふべし○本會振替貯金口座番號東京六

注意

九六三番○郵便爲替拂渡局は必ず東京小石川小日向水道町郵便局○郵券代用は一冊二十錢の割

廣告料

代金の受取證を要するものは返送料を送れ○住所姓名を明記されたとし○注文の際は第何號よりと明記されたとし○問合せは必ず往復ハガキ

明治三十八年六月二十九日內務省許可
明治四十三年四月二十七日印刷納本
明治四十三年五月三日發行

(第六十二)



編輯兼發行人 東京市小石川區關口駒井町三番地 大下藤次郎

印刷者 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 藤本兼吉

印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舎第一工場

發行所 東京市小石川區關口駒井町三番地 春鳥會

大賣捌所 東京市神田區表神保町 東堂